

## 現状

- 保倉川放水路整備に伴う「地域分断」や「家屋移転」などが沿川住民にとって重要な懸念事項であるため、地域コミュニティへの影響をできる限り軽減するための「まちづくり」を行う必要がある。
- 令和5年4月、市の組織内に「保倉川放水路沿川まちづくり推進室」を設置し、令和5年9月より放水路ルート上の町内会（夷浜、下三分一、浮島）とまちづくりの課題、検討項目など、地域の意向を把握するための話し合いをスタートしたところ。

## 放水路ルート上の町内会との意見交換

### 地元からの現時点までの主な意見

- ・ 放水路により分断される道路ネットワークや通学路の確保
- ・ 家屋移転に関する心配
- ・ 地域コミュニティを維持するための施設整備
- ・ 分断される農地への対応
- ・ 狭隘な生活道路の改良      など

### 今後のまちづくり検討

- 放水路ルート及び沿川各地域の多岐にわたる課題に対して、地域全体の合意形成を図ることが重要であることから、保倉川放水路の形状の検討に合わせて、引き続き、放水路ルート及び沿川の住民等、関係する方々と話し合いを重ねていく。
- また、今後は津波の影響についても検討課題に加え、地域の不安が解消され、地域が納得いただけるようなまちづくりについて検討を進めていく。